

妙義山・・表妙義縦走



- メンバー・CL 佐藤 小宮山 松本(記録) 会員外(H.K)
- 11月29日 深夜 中ノ岳神社 P
- 11月30日 白雲山登山口 6:50-大の字 7:15-天狗岩 9:05-相馬岳 9:30-
ホッキリ 10:40-鷹戻しの頭 12:00-中ノ岳 13:00- 第4石門広場 13:40
中之嶽神社 P 14:15 ゴール
- 天気：晴れ

妙義山は4年程前に簡単なコースで登った事がある

その時、岩場でグループのリーダーらしき男性がスリングとカラビナを使いおば様達を次々と持ち上げているのを見てステキ！と思い、「その紐は何ていうんですか？」と教えてもらった。

記憶力の悪い私はスリリングね・・と覚えた。いつの日か、それを持ってまた登りに来たいと思っていた。

佐藤さん、縦走を計画してくれたが私は時間、体力も少々不安。でも岩は好きだし
Hちゃんに会えるのも嬉しいし、でワクワクが先行してその日を迎えた。

中の岳神社前に深夜到着。駐車場は鎖がかかかって入れなかったなので、その先の広場に駐車した。

天体望遠鏡で観測をしている人がいるほど綺麗な星空。Hちゃんも迷う事なく到着し

1129は佐藤さんのお誕生日なので深夜にプチパーティ。起床後、日の出前の真っ暗な中、
車一台で妙義の道の駅へ移動する。



スタートは妙義神社から。イチョウやカエデの紅葉と目の前にそびえるギザギザの妙義山が焼けてとても綺麗だ。奥の院を過ぎるまでは危険箇所は無いと聞いていたが、最初のチェックポイント大の字直下も結構な高さの岩場であった。

腕の力ばかりに頼らず足で登るようリーダーからアドバイスがあったので、いっさい手を使わず登ってみようと密かに試みるが無理だった。

びびり岩、痩せた尾根の背びれ岩、大のぞき、天狗岩と次々と落ちたらただでは済まない鎖場のポイントをアップダウンを繰り返しながら通過する。



上り下りだけでなく染み出しが凍っているトラバースもあつたりと緊張の連続だ。

にも関わらず一つ目のエスケープルートへの分岐、ホッキリへはリミットより1時間以上も前に到着。

ここから先は全員未踏なのでドキドキとワクワクな気分が進む。

あまりに鎖やら急登やらが多く鷹戻しが良く分からないまま、ようやくそれらしき鎖場とハシゴが出てくる。今日のハイライトの有名な鷹戻しを有難さを噛みしめ慎重に登る。

ホッキリを過ぎたあたりから対向者も多くなり渋滞気味の為、下りはロープを出して懸垂下降でささっと降りた。

2か所目のエスケープ分岐も予定時間より早く通過。

そして最後の核心部、中ノ岳直下の下りを終えると、ほどなくして観光客やハイカーが大勢いる石門広場に出た。



中之獄神社へ降りHちゃんのエクストレイルで道の駅へ。

日没を心配していたがかなり明るいうちに下山できた。

下仁田ネギの売り切れを心配していた私達の為にリーダーがトップで飛ばしてくれたおかげかな？

しかしながらタッチの差で売り切れでゲットすること出来ず残念。

この後、実家へ帰るといふHちゃんと名残惜しくもお別れし、大人はもみじの湯で温まり帰路についた。



憧れのぎざぎざ妙義山。無事に登れて良かったです。
裏妙義や星穴岳も綺麗に見えたのでそちらもいつか
行ってみたいと思いました。
ひとつ大人になった佐藤リーダー、Kちゃん、
Hちゃん、これからもよろしくお願いします。



妙義山を体で表すとこんな感じ！？